

- 問1 熱帯の特定の地域に見られる、雨季に成長する丈の長い草原に、乾燥に強い樹木がまばらに生える景観を説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. ステップと呼ばれる、短い草が広がる乾燥した平原 | 2. サバナと呼ばれる、雨季と乾季の影響を受けた植生 | 3. ジャングルやセルバと呼ばれる、一年中雨が多い密林 | 4. タイガと呼ばれる、冬の寒さに強い針葉樹林の広がり |
|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
- 問2 スウェーデン、ナイジェリア、チリ、モンゴル、メキシコの5か国の統計において、イスラム教を信仰する人々の人口に占める割合が最も高い国はどこですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 1. スウェーデン | 2. モンゴル | 3. ナイジェリア | 4. メキシコ |
|-----------|---------|-----------|---------|
- 問3 北半球にあるイタリアのローマと、南半球にある南アフリカ共和国のケープタウンは、ともに夏に乾燥し冬に雨が降る「地中海性気候」に属している。ケープタウンにおいて、1月よりも7月の平均気温が低くなる理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 標高の高い高原地帯に位置するため、夏の間に平均気温が著しく低下するから。 | 2. 南半球に位置するため、北半球とは季節が逆になり、7月が冬の時期にあたるから。 | 3. 7月になると南極大陸から冷たい季節風が吹き込み、一時的に気温を押し下げるから。 | 4. 赤道に近い低緯度地域に位置するため、1年を通じて気温の変化がほとんどないから。 |
|---|---|--|--|
- 問4 サバナ気候において、一年の中で降水量の多い雨季と、ほとんど雨が降らない乾季が明瞭に分かれる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 寒流の影響で空気が冷やされ、上昇気流が発生しにくくなる時期が半年間続くため。 | 2. 大陸内部に位置しており、海から遠いために一年を通じて乾燥した季節風の影響を強く受けるため。 | 3. 上昇気流が発生しやすい赤道低圧帯と、乾燥した下降気流が発生する中緯度高圧帯の影響範囲が季節によって移動するため。 | 4. 一年中、赤道低圧帯の影響のみを強く受けることで、毎日午後にはスコールが発生し続けるため。 |
|---|--|---|---|
- 問5 ユーラシア大陸の北東部やシベリアなどの高緯度地域に見られ、夏は短く、冬の寒さが非常に厳しい気候帯を何といいますか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|------------|-------|
| 1. 温帯 | 2. 乾燥帯 | 3. 冷帯（亜寒帯） | 4. 熱帯 |
|-------|--------|------------|-------|
- 問6 シベリア地方などの寒冷地にある住居では、床を地面から数十センチメートルから数メートルほど離れた「高床式」の構造が採用されています。建物の熱が直接地面に伝わらないように工夫されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 建物の熱で地中の凍結した土が溶けると、地盤が緩んで建物が傾いたり沈んだりしてしまうため。 | 2. 地表面付近に溜まる冷たい空気の循環を促し、室内の暖房で暖められた空気が逃げないようにするため。 | 3. 冬の間に降り積もる非常に深い雪によって、建物の出入口が完全に塞がれてしまうのを避けるため。 | 4. 夏の短い期間に発生する大量の害虫が、床下から建物の中へ侵入してくるのを防ぐため。 |
|---|--|--|---|
- 問7 世界の国々を「アジア州に属する」「キリスト教を主に信仰する」「伝統的な主食に米を用いる」という3つの要素で分類した場合、ブラジルに当てはまる特徴の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. アジア州に属しており、キリスト教を主に信仰している。 | 2. キリスト教を主に信仰しているが、伝統的な主食は小麦である。 | 3. アジア州に属しており、伝統的な主食として米を用いている。 | 4. キリスト教を主に信仰し、伝統的な主食として米を用いている。 |
|-------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
- 問8 日本列島付近の天気は、一般的に西から東へと移り変わる傾向があります。この理由として、日本が位置する中緯度帯の上空において、雲や気圧配置を西から東へ運ぶ役割を果たしている仕組みを何というか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 1. 中緯度帯の上空を一年中吹く偏西風 | 2. モンスーン（季節風）の周期的な変化 | 3. 大陸から吹き出すシベリア高気圧の風 | 4. 赤道付近から吹く貿易風による影響 |
|---------------------|----------------------|----------------------|---------------------|
- 問9 北半球の高緯度に位置する、ある地域の気候について説明した次の文章を読み、あてはまる気候区分を答えなさい。この地域では、1月の平均気温がマイナス10度近くまで下がり、夏の最高気温も12度程度にとどまります。その結果、年平均気温は0.9度と非常に低く、冬の寒さが極めて厳しいのが特徴です。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-----------|------------|------------|
| 1. 寒帯 | 2. 地中海性気候 | 3. 冷帯（亜寒帯） | 4. 西岸海洋性気候 |
|-------|-----------|------------|------------|
- 問10 南アメリカ大陸南部のアルゼンチンや、アフリカ大陸南部に位置する都市の気候について、日本などの北半球の国々と比較した際の特徴として最も適切なものはどれですか。なお、これらの地域の統計資料では、7月付近に気温が1年の中で最も低くなる傾向が示されています。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 赤道直下に位置しているため、1年を通じて気温の変化がほとんどなく、季節の区別が存在しない。 | 2. 高緯度にあるため、1年を通じて偏西風の影響を強く受け、7月頃に最も気温が高くなる。 | 3. 地球が地軸を傾けて公転している影響で、北半球とは季節が逆転し、7月頃に冬を迎える。 | 4. 広大な砂漠地帯に位置するため、降水量が極端に少なく、1月頃に気温が最も低くなる。 |
|--|--|--|---|
- 問11 南アメリカ大陸の赤道付近に位置する都市において、標高約2800メートルのキトは、ほぼ同緯度の平地にあるマナオスと比較して、一年を通じて気温が約10度以上低く保たれています。このように、低緯度地帯であっても年間を通じて冷涼な気候となる主な要因として、最も適切なものを選びなさい。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|---------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 1. 広大な森林地帯による蒸散作用で地表が冷やされること | 2. 高緯度地域に位置し、太陽の光が届きにくいこと | 3. 周辺を流れる寒流の影響を強く受けていること | 4. アンデス山脈の中に位置し、標高が高いこと |
|------------------------------|---------------------------|--------------------------|-------------------------|
- 問12 インドネシアのような熱帯の地域で見られる、床面を地面から高く離して作る伝統的な住居の工夫には、気候への適応としてどのような目的がありますか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. レンガの壁を厚くすることで、外の熱気が伝わらないようにするため | 2. 砂漠の強い日差しと砂嵐が家の中に入り込むのを防ぐため | 3. 冬の厳しい寒さを防ぎ、室内の温度を一定に保つため | 4. 地面からの熱や湿気を避け、風通しを良くするため |
|------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|----------------------------|
- 問13 キリスト教の諸派のうち、ロシア、ウクライナ、ルーマニア、ギリシャといった東ヨーロッパから北アジアにかけての広い地域で主に信仰されている宗派の名称として適切なものはどれですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|----------|--------|----------|
| 1. プロテスタント | 2. カトリック | 3. 正教会 | 4. イスラム教 |
|------------|----------|--------|----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 サバナと呼ばれる、雨季と乾季の影響を受けた植生	雨季には豊かな降水によって背の高い草が成長しますが、乾季になると雨がほとんど降らなくなるため、草は枯れ、樹木も乾燥に強いアカシアやバオバブなどが点在するのみとなります。このような植生が見られる地域は、アフリカ大陸の赤道周辺の外側などに広く分布しており、典型的なサバナ気候の景観を作り出しています。
問2	答え 3 ナイジェリア	アフリカ大陸に位置するナイジェリアは、人口の約半数がイスラム教徒であり、残りの多くがキリスト教徒です。一方、メキシコやチリ、スウェーデンはキリスト教徒の割合が高く、モンゴルは仏教（チベット仏教）が中心であるため、この5か国の中ではナイジェリアが最もイスラム教徒の人口比が高い国となります。
問3	答え 2 南半球に位置するため、北半球とは季節が逆になり、7月が冬の時期にあたるから。	地球は自転軸を傾けた状態で公転しているため、北半球と南半球では太陽の光を受ける角度が時期によって異なり、季節が逆転する。南半球にあるケープタウンでは、北半球の夏にあたる7月頃に太陽高度が最も低くなる冬を迎えるため、1月よりも平均気温が低くなる。これは南半球の多くの地域に共通する特徴である。
問4	答え 3 上昇気流が発生しやすい赤道低圧帯と、乾燥した下降気流が発生する中緯度高圧帯の影響範囲が季節によって移動するため。	サバナ気候の最大の特徴である雨季と乾季の交代は、地球規模の気圧帯の移動によって生じます。太陽の直射を受ける地域が季節によって南北に移動するため、雨をもたらす赤道低圧帯（熱帯収束帯）に覆われる時期は雨季となり、乾燥した中緯度高圧帯（亜熱帯高圧帯）に覆われる時期は乾季となります。
問5	答え 3 冷帯（亜寒帯）	北半球の高緯度地域に広がるこの気候帯は、冬の寒さが極めて厳しく、年平均気温が低くなるのが特徴です。夏の間は気温が上がりますが、その期間は短く、大陸の内部では降水量が少なくなる傾向があります。
問6	答え 1 建物の熱で地中の凍結した土が溶けると、地盤が緩んで建物が傾いたり沈んだりしてしまうため。	シベリアなどの永久凍土地帯に直接建物を建てて暖房を使用すると、建物の熱が地面に伝わり、地中の氷が溶けて泥状になります。これにより地盤の強度が失われ、建物の重みを支えきれなくなるため、熱を地面に伝えないよう高床式にする必要があります。近年では地球温暖化の影響でこの永久凍土が溶け、建物が崩壊する被害も報告されています。
問7	答え 4 キリスト教を主に信仰し、伝統的な主食として米を用いている。	ブラジルは南アメリカ州に位置しているため「アジア州」の属性は持ちませんが、文化面では他州と共通する特徴を持っています。宗教面ではヨーロッパ文化の影響によりキリスト教が広く信仰されており、食生活においてはアジア諸国と同様に米を主食として消費する文化を持っています。このように、地理的な位置と文化的特徴が必ずしも特定の州のイメージだけに固定されない点に注意が必要です。
問8	答え 1 中緯度帯の上空を一年中吹く偏西風	日本は北半球の中緯度帯に位置しており、その上空には偏西風が常に西から東へと吹いています。この風が低気圧や高気圧、雲の塊などを西から東へと押し流すため、日本の天気は数日おきに西から順に変化していくという特徴を持ちます。
問9	答え 3 冷帯（亜寒帯）	高緯度地域で見られるこの気候は、冬の気温が氷点下まで大きく下がる一方、夏には短い期間ながら気温が10度を超える程度まで上昇するため、樹木の生育が可能です。このため、広大な針葉樹林（タイガ）が形成されます。年平均気温が極めて低くなるのは、冬の冷え込みが非常に厳しいためであり、北半球のロシアやカナダ、日本の北海道などに広く分布しています。
問10	答え 3 地球が地軸を傾けて公転している影響で、北半球とは季節が逆転し、7月頃に冬を迎える。	地球は地軸を約23.4度傾けた状態で太陽の周りを公転しています。このため、北半球が太陽の方へ傾いて夏（7月頃）を迎えているとき、南半球は太陽から遠ざかる方向に傾くため冬となります。この現象により、南半球の都市の雨温図では、北半球とは逆に7月頃に気温のグラフが低く沈み込む曲線を描くのが特徴です。
問11	答え 4 アンデス山脈の中に位置し、標高が高いこと	一般に気温は標高が100メートル上がるごとに約0.6度下がるという性質があります。アンデス山脈にあるキトなどの都市は、赤道直下のため季節による気温の変化は少ないものの、非常に標高が高いために、同緯度の低地であるマナオス（熱帯雨林気候）と比べて気温が大幅に低くなります。この気候は「常春」の気候とも表現されます。
問12	答え 4 地面からの熱や湿気を避け、風通しを良くするため	インドネシアは一年を通して気温が高く降水量が多い熱帯に属しています。このような高温多湿な環境では、地面付近の湿気がこもりやすく、風通しが悪いと過湿しにくいいため、床を高く作る「高床式」の構造がとられています。これにより、床下を風が通り抜けることで温度上昇を抑え、地面からの湿気や熱気が直接室内に伝わるのを防ぐことができます。
問13	答え 3 正教会	キリスト教は大きく分けて、バチカンを中心とするカトリック、宗教改革から生まれたプロテスタント、そして東ローマ帝国の国教として発展した正教会の3つの流れがあります。正教会は、地理的に東ローマ帝国の影響下にあったロシアやバルカン半島諸国、東ヨーロッパの国々において、歴史的・文化的な基盤となっています。